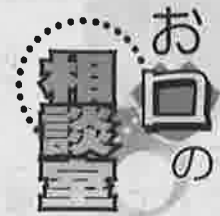


3Dプリンターの応用



【問い】 歯のつめ物やかぶせ物をコンピュータで作製する方法があることをテレビで知りました。どのようなものか教えてください。
（長崎市、28歳女性）

コンピューターでつめ物作製



回答者
菅原 淳道
長崎市平野町
菅原歯科医院院長

【答へ】 コンピューターで白いかぶせ物を作製するには、CAD/CAM（キヤドカム）システムを使用します。CAD/CAMとは、コンピューターの支援によって設計と製作を行うシステムのことをいいます。昨今話題になっている3Dプリンターの歯科への応用とを考えてください。CAD/CAMは、これまで歯科技工士が手作業で行っていた作製工程のほとんどを、コンピューターと連動した機械で行うのが特徴です。歯型から得られた模型を特殊なカメラによって読み取り、コンピューター上で3D模型といわれるものを構築します。その後3D模型上でかぶせ物を設計し、かぶせ物の材料となるブロックを機械で削り出して作製します。

ブロックにはさまざまな材料があり、ハイブリッドレジンと呼ばれる材料を用いたかぶせ物が2014年4月、健康保険適用になりました。ハイブリッドレジンとは、従来から使用されている樹脂系の材料とセラミックスを合わせた材料で、歯に近い色をしています。現在は、真ん中から数えて4番目と5番目の歯だけが適用になっています。金属アレルギーで診断書がある人は、6番目と7番目の歯も適用となります。

CAD/CAMシステムでは、健康保険適用外でセラミックスやジルコニアという材料も存在します。セラミックスは審美性に優れていて、ジルコニアは、強度に優れています。保険適用外の場合は、型取りも直接口腔内カメラでスキャンできるため、症例によっては1回の来院でかぶせ物を装着することが可能な場合もあります。詳細については、かかりつけの歯科医院に相談してください。

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒80521-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「80020ながさき」で検索できますので参考にしてください。